



繪本豐臣勲功記

三編

壹





豊臣記三編

櫻澤堂山編輯  
一勇齋國芳畫

忍里必窓

# 繪本豊臣勲功記

三編

浪華書肆

群玉堂  
文海堂

從五位

彈正忠

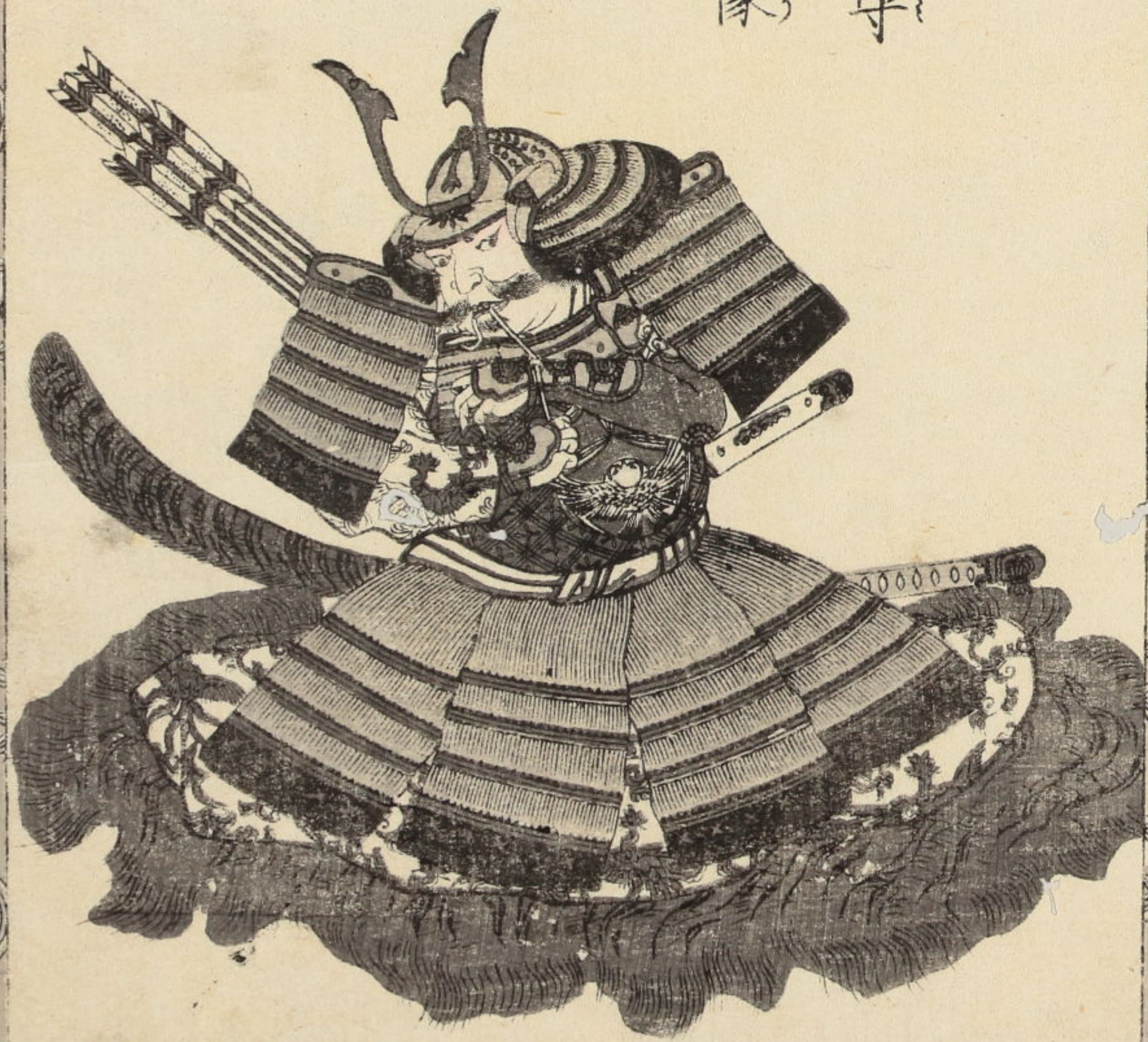
平

信長之像



豊臣記三編口





江北小谷城主  
 浅井備前守  
 長政之像



越前  
 大守  
 朝倉  
 左衛門督  
 義景之像



浅井下野守  
藤原久政



江北之謀士  
遠藤

喜右衛門  
尚次之像





三好家軍略士

岩成主税助

好通之像



勢州  
八田城主  
楠  
七郎左衛門  
正具之像





羽柴  
筑前守  
秀吉之像



繪本豊臣勲功記三編壹之卷

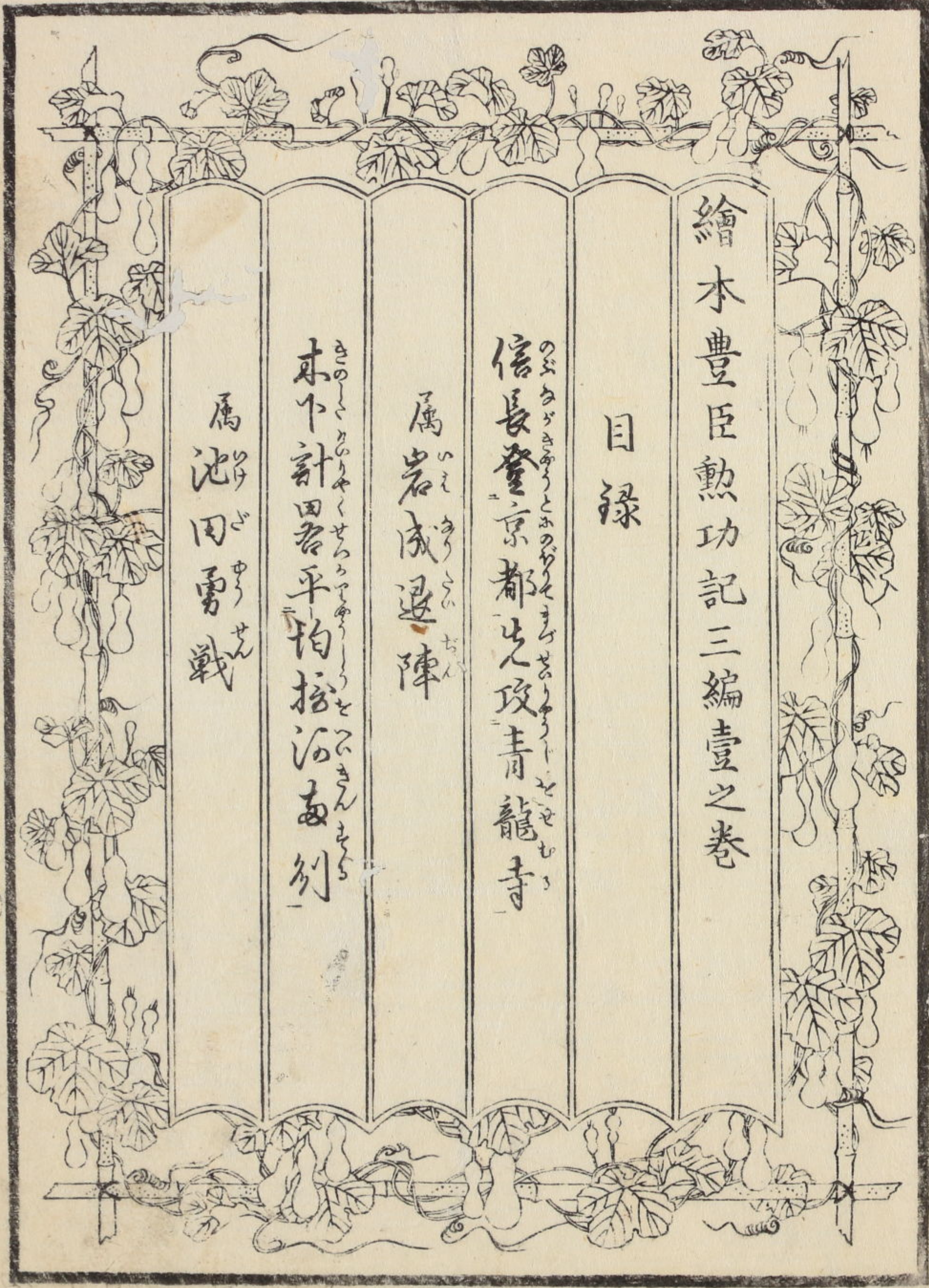
目錄

信長登京都先攻青龍寺

属岩成退陣

本下計田平拍松河内列

属池田勇戦



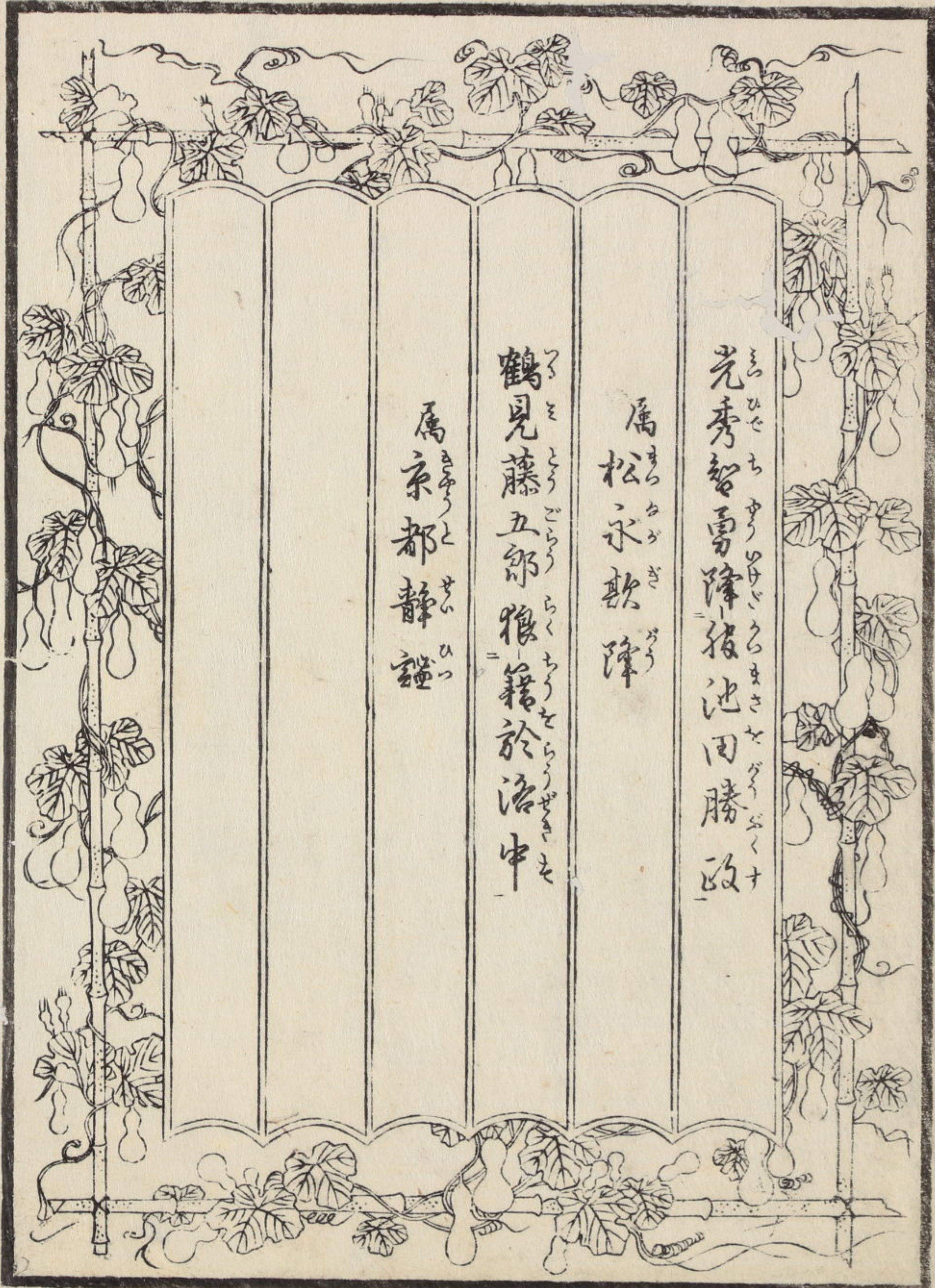


光秀智勇降彼池田勝政

属松永款降

鶴見藤五郎狼籍於洛中

属京都静鑑



繪本豊臣勲功記三編卷之一

江戸 八功舎 徳水刑補



信長上洛之及青龍寺城属岩成退陣

仁とりのく心をもる响を天伸もよく是と相け義をのりて伐を響の地後  
もよく是と依く然バ織田信長の新公方家とち護しまわらせ義をを散  
その世設端ふまづ江別の六角家が所敵とある小桑安をく此小戦ふこと一日小  
して兼復義綱を石部(遠去)その語下る楯城の十八箇所を残りみく臨  
落かさしめろふよりと洛の道忽用きて新公方家義昭君を守山小請とま  
わらせ近日常都へ攻登ると勢連伍ありろ小降急の緒とまて兼加く  
五万余騎とを所つる然れど小之好機の門を京都小是も立留うね攝河経  
院(即ち)退れ信長を拒抗んとあまづ山城の園西の岡青龍寺小を岩成を親



助一千余騎少尉對凝也。撰別高槻の城を。入江左近八百餘騎少尉城を。一。  
茨川に城中の故細川喜元の嫡子聰明丸を守達と之好日向守長縁。  
二千余騎少尉軍城を亦清水松の城を。條原右を進一千余騎少尉。  
擁護を。外布引淵山少尉四國の兵士とせ置富田普門寺少尉細川  
掃部之好孝次郎と之將とて二千余騎を指揮せし義繁君を守護し  
まぬれ池田羽の城少尉池田統後を勝政伊丹少尉伊丹大和を親興尾ヶ波  
少尉荒木信濃少尉村重儲多。少尉内國少尉至ま。飯盛山。少尉好野守政康  
二千余騎少尉籠城。同少尉野の城中少尉之好山城守康長入道笑若。少尉  
武子好弦を守宰せり。撰河の西國細より。之好好思分あるせりて。渠  
少尉一心して織田の大軍を拒抗せんと。播磨を合せて。後蒐り。遠駒信長  
之井寺野。極樂院。小逕。少尉。京都の曉溪を。關を。せける。少尉之好依

撰別(邊)を。中。定著小注伸ありし。公。新公。方家。言。吐。して。水。祿。十。軍。  
九月廿八日。諸次。の。新。莊。嚴。小。君。を。殺。せ。衛。し。て。ま。つ。た。元。治。の。地。に。宮。奉。  
らせ。清水寺せりて。假の所。和。と。一。義。昭。君。を。あ。ま。さ。さ。さ。し。め。奉。り。し。  
信長。の。東。福。寺。小。陣。所。を。定。め。移。り。せ。り。若。右。軍。の。せ。り。て。諸。將。の。軍。  
公。甲。乙。人。洛。中。洛。外。新。任。所。外。礼。坊。後。籍。を。さ。す。り。さ。す。る。音。聲。し。く。こ。こ。  
を。徇。せ。ま。ふ。然。ど。も。京。都。の。町。人。輩。ハ。信。長。を。怖。れ。懼。く。こ。と。天。魔。鬼。神。  
小。も。勝。之。死。暴。逆。の。大。將。を。ぬ。と。沙。汰。して。今。ま。を。恐。怖。し。る。る。が。却。て。之。好。松。  
永。より。公。士。の。禁。制。を。し。る。ま。は。僅。小。安。未。途。の。か。り。ひ。ひ。み。せ。ど。も。等。閑。小。せ。六。外。  
や。あ。ら。んと。臆。さ。く。も。獻。上。の。器。品。を。把。齎。せ。各。々。東。福。寺。小。系。上。り。て。  
池。上。洛。を。有。り。た。て。ま。つ。る。そ。の。外。後。原。今。の。半。井。道。と。或。を  
連。舟。師。船。已。心。前。昌。比。る。ん。と。其。小。致。めて。諸。將。の。名。人。を。と。り。て。と。群。衆。を。







河津原一たてまつる遠响織田殿町人們を召出させ自ら對面ありせ  
 らしむ心せ安く家来を勵之教と急下を急らざれと河津の命を以て  
 うへ區々小賜賜ありらば初々名將たる緯を知り寛仁大度の子小こそ  
 と讃嘆してぞ邊出たり其が中小連新跡部巴ハ扇子と二本量船  
 の載ちまを船にて賀し奉る信長時と河津あり渠を圍へ連舟  
 陣をらまや一向不望をかきとてその乘扇を把揚多ひ

日本  
 二本  
 小和ん手小入るるのたとぶれ

とあらせらるる是小屬と命せしる部巴もまを放す

二葉つる千代よりげ代のおまき小て

と願副く信長殊の感涙ましく能く後つるのける大張ありとて  
 褒賞の詞法をらむ重宝多く賜りて聽て親しくめさるる然るも小孫

吉原秀吉河津小出で勅めてりさく今之好依小孫の據せし孫列武  
 士の中小おわくも荒木伊丹池田の諸將は彼地累代の地願小して  
 然るも名譽の勇士あり志を遠達之好が小催促せらるるかの  
 まくが城小瀬も居るといふも心之好の遂賊と生死を小をべれ  
 意なり斯る所へ此方より新公方家小河津味方せ本安途未達なり  
 一曰又軍忠ある小おわく之恩賞重く行さんと重く送らせまひらば  
 渠は倅うあらむ新公方家の河津信と主君の中心義小感後く報達一身の  
 心と恥とちまも義小興力とす然るも河津小孫と張橋と実ある  
 諸將候日ありと愛心遠報とす然るも响と家儀して河津出馬あらば  
 大利あらんと命せし信長感佩せらるる頼て東西小執する人を招き小下  
 が勅めりや小命せらるる荒木池田伊丹等へ新公方家の河津教書小



信長の書状と添へ贈らる。茲小遣使が軍城せる西尾園青龍寺の  
 その程を伝ふあるものにて最先及指下と信長より指揮したまはし業  
 走向ふ。唯一橋小攻際せと命を得ると嗚呼輩。二千余人一隊小あり青龍  
 寺山城園に別都ありの構へ推進せむ二せこ小攻より小當城小激ちる。この好  
 之家法を申小智勇勝ま。岩成主税助を以て防波の方御も尋常ならむ。  
 石院矢石と惜れなく。隙隙もあらせむを戦ふれど小進より大小撃悩さむ。系  
 扱つた事おのひもよらむ。顛倒する隙小日の暮。うごも進より更小退人と  
 もせむ。猶攻口小まらむと。岩成既と心属九百余人の益と勝。是れ進を  
 一泡灰とて得せんと。隙隙小集り。織田城の後廻り。口々小備へ織田城  
 よりの加勢あり。と味より近くよと見え。思ひもよらぬ小魁隊の益と令  
 釋好くらし強より。鳥院打蕙滄と。是れ殺す害地小掘起る。進を又小

驚顛る。こまのいふと糧糧まらむ。圍さるら。他兵自益の分ちも  
 知まむ散乱。ろろが城をの壁もこまれむ。期禱より。而も教離令。進  
 益と八方撃散。猶兵叫揚て退逃せむ。織田の益と立是もなく。  
 旬々京都へ逃往り。信長より事を所せむ。と。声せ放ちて大小怒り  
 方僅の要時を許。かじ大軍のつて踏つせと。命せを未下。詔く謂や。不知業  
 内の所小。夜中の軍の隙小。期や岩成主税助の容易者小。惟らむを。  
 明朝津旗を當向らむ。然るべと。重と小より。休とせ得む。存と。ゆ。丸  
 日の東境小。総軍一同出陣さ。め。新公方の所旗も。魚津と。西の園。推  
 進より。五里は。大軍あり。野小も。山小も。元満と。青龍寺の城を。十重小  
 重小。推圍する。幾ひの。戦。さ。ん。の。い。ふ。が。好。城。を。大。小。標。怖。を。決。も。防。戦  
 備。ま。ら。む。と。惘。然。と。目。を。つ。ら。む。と。岩。成。衆。を。激。く。信。中。進。を。大。勢。を。ま。ら。む。





岩成 主税助  
 青龍寺の  
 城り  
 勇戦  
 こと





とてたの怖る事やある難城させし頼より戦死せんとの頼り朝にたす。  
 然る大軍をひたけり最面強き播磨一末世小名を殺さん傳は武士の  
 中意あり。方僅遠戰場を逃るるも。何程の運や軍くべし頼小癩どうけ廢  
 人とあり。青龍寺崩の臆病者と謂きん詞の朽憾さよ。界懐のさす止小傳  
 名を殺さる。武士ごけの心を持と烈に指揮小諸軍勢必死の覚悟し。折口  
 と。者く守りて防衛んとを然かど小信長の。昨更の軍小自軍は。士と  
 夥く設せし。憤怒をこく。ゆるか。只一播小。臨せと。當り。ふふと  
 藤吉高。小制。懸。城中心死の覚悟せ。く。女。方小。こ。ま。と。取。る。胸。の  
 味方も。多く。控。を。く。小。信。計。ひ。重。さん。小。と。強。く。信。長。の。漸。希。を。執。議。後。世  
 彌。多。湯。小。密。意。を。告。敵。城。小。赴。く。む。長。政。の。仔。細。小。心得。單。結。小。と。青。龍  
 寺。の。城。門。小。到。り。信。長。より。一。言。を。り。や。收。げ。死。詞。あり。て。使者。小。越。る。者

どうしは城中(宮主)と噂をせし守門のをせし。小初と吉次(り)が岩成  
 更小。羅。受。を。追。返。す。と。謂。小。ま。ま。を。後。野。小。取。と。春。こ。り。し。は。後。世。傳。累。後。に  
 方。僅。信。長。の。漸。意。を。城。を。決。拳。動。を。感。し。至。ひ。只。一。言。を。通。言。て。その。不。意。に  
 知。せ。た。や。と。使者。の。信。を。か。し。至。小。を。信。義。と。も。辨。し。て。一。途。小。合。戦。の。事。に。の  
 急。ぐ。る。釋。の。笑。止。さ。よ。と。謂。く。詞。の。苦。を。所。岩。成。實。小。も。と。思。ひ。し。や。使者。と。通  
 せ。て。関。戸。を。開。て。孫。之。湯。に。城。門。内。小。伴。ひ。来。り。る。を。税。助。小。對。面。さ。せ。し。む。响。小  
 後。野。辞。儀。と。謂。や。是。下。當。城。小。對。凝。守。防。戦。の。准。備。よ。り。の。海。を。し。た。と。致。車  
 も。心。を。一。致。中。に。死。を。懸。か。る。無。作。の。感。を。る。小。獨。餘。あり。然。こ。も。を。勇。匹。更。し。  
 近。く。思。慮。案。々。し。く。思。た。ま。さ。し。り。城。を。枕。小。戦。死。せん。事。を。ま。ま。と。名。譽。を。な。さ。し。  
 軍。武。者。の。不。作。あり。ぬ。べし。苟。も。是。下。と。好。家。中。と。人。衆。と。も。い。ん。り。り。牙。被  
 率。と。懸。と。同。く。不。く。遠。城。中。小。戦。死。せ。ば。敵。對。台。候。ハ。勝。ひ。事。を。自。軍。に。い。く



鏡を以て隠す。この好家純弱亡とみらん。輝歎あらよ。こを痛めり。并る我ら。
 織田信長軍と共せし。細う。一軍と。も。暴小殺。と。ま。つ。好て。軍。を。せ。ど。然。れ。ど。
 中。が。遠。孤。城。小。使。の。悔。り。て。指。籠。り。徒。小。戦。拵。あ。ら。ん。う。の。富。田。高。槻。一。隊。が。
 重。て。軍。一。た。ま。ふ。こ。そ。足。下。注。望。む。こ。所。あ。ら。め。今。更。自。軍。小。使。後。に。
 戦。死。と。察。す。信。長。の。通。力。が。め。相。違。ひ。あ。ら。う。づ。本。意。の。如。く。還。さ。せ。ら。ま。六。路。次。
 の。糧。糈。を。め。う。小。計。と。し。と。所。て。岩。成。實。小。使。田。原。の。大。量。寛。計。感。佩。と。も。小。使。
 あり。ゆ。る。余。越。す。如。く。獨。將。佐。小。使。に。離。さ。し。遠。城。小。使。を。今。更。小。達。運。を。
 小。使。と。い。ふ。も。ろ。多。把。子。分。注。怒。し。ま。敵。よ。う。し。ろ。と。見。せ。せ。ん。事。最。恥。く。作。也。
 唯。戦。死。と。覺。醒。せ。し。事。續。小。河。推。量。小。寸。分。違。い。を。遠。上。小。使。小。計。ら。ひ。た。
 小。使。小。達。不。還。さ。し。と。す。一。の。不。望。こ。も。あり。作。城。を。行。頼。心。を。教。
 せん。た。め。送。り。の。河。人。船。を。か。く。あ。ら。も。河。添。を。さ。し。作。て。俺。們。一。不。小。還。せ。ま。

あり。と。作。り。の。也。遠。義。も。よ。小。計。ひ。至。と。重。し。出。る。小。使。野。彌。を。當。て。後。に。河。
 無。念。一。た。ま。ふ。づ。ら。と。早。く。自。軍。一。の。小。使。小。計。ら。ひ。来。せ。ら。ん。と。そ。を。察。し。陣。
 一。を。還。返。し。ぬ。後。は。岩。成。の。一。隊。軍。不。審。て。亂。る。ゆ。ゆ。ゆ。と。遠。地。を。他。に。一。還。を。
 せん。と。宣。ふ。と。同。じ。岩。成。と。稅。助。は。同。く。大。小。共。ひ。是。後。長。が。昨。日。の。敗。を。悔。ま。
 新。の。計。に。し。唯。亦。遠。地。小。使。ら。ん。う。の。擧。げ。の。自。軍。と。一。隊。小。使。あ。り。存。亡。を。共。す。と。
 續。細。う。の。本。意。を。さ。し。も。敵。を。目。小。使。大。軍。あり。い。う。如。く。計。畧。あ。ら。ん。也。知。ま。し。
 送。り。の。公。士。を。不。望。せ。し。め。は。道。中。妨。さ。し。還。得。ま。さ。し。貨。と。も。難。多。自。軍。
 の。地。お。投。ら。る。と。多。量。を。設。投。て。土。屋。お。せん。と。お。り。分。ら。方。使。の。如。く。小。使。を。信。
 長。我。を。難。り。さ。し。相。す。信。長。を。計。と。し。と。驕。氣。小。使。に。譚。を。な。さ。し。け。る。
 敵。が。と。小。使。野。彌。を。湯。の。か。陣。小。使。を。隔。り。本。中。小。朝。を。岩。成。が。不。至。の。詞。條。紹。
 せ。る。小。使。言。所。く。ら。か。び。諸。と。計。策。圖。の。如。く。と。大。小。使。び。ま。し。

豊田諸三純巻之一



浅野と敵味へ遣へたり。岩成と出逢へ命いりふとありたり。彌生湯  
 うへて重きくハ。河平望小信をく。織田に一族老居候を見送り目入人質は  
 ため且下居つれの存すを遣さるべき。朝多と重きを介て自衛助心中小喜  
 悦み。漸態志の條よりもあり難し。斯うくハ速小用城遣さるべきと  
 小使計ひ特入を。浅野を遣り出さるが。彌生湯木下の陣小降り如きの朝を  
 是より小秀吉無計とんと。小市平秀長は及向く品好りはあまを信長  
 の合身とるげ。堀尾茂助。辣休賀又小助。青山小助。大澤水竹。中之能松  
 原内通の門を。柴田佐久間。林丹羽の一族と稱し。いづれも小具足輕刀小後  
 者も伴と只七人。浅野と共小城小入志く。このよしを報りし。岩成と程助  
 とも目をして。做成ると。又小敵び遣上る。行時も留り。うら小退城の  
 まらん。浅野大八。中を。遠朝と。大將へ。河傳へ。あま。と。重きを。浅野も。合報へ。

漸心靜小退至とて。木下の陣へ。ひね返を。岩成然バ。退去せとやと。一千余人と。之隊  
 小分部。織田より。送りし。七人。その正申小。此。以。單。此。此。も。淵。断。を。を。一。當。天。の  
 末小。近。き。あ。ろ。青。龍。寺。法。城。を。築。き。り。ま。ま。び。び。秀。吉。淺。野。小。令。と。て。お。百。人。の  
 乞士と。付。其。城。法。而。て。振。給。ら。せ。ぬ。借。又。岩。成。主。税。助。の。脇。腹。の。長。家。と。密。小。峰。と。也。  
 汝。們。遠。地。と。を。事。小。退。死。放。り。と。か。り。し。と。思。ふ。彼。七。人。を。生。捉。り。然。も。敵。地。へ  
 遣。去。り。人。質。と。あ。り。て。来。つ。る。輩。由。え。合。尋。常。の。武。士。小。い。あ。る。は。じ。任。他。不。意。を  
 敵。人。小。の。難。き。事。や。い。あ。ら。う。ら。ら。む。暗。号。を。謀。つ。な。と。固。々。これ。を。重。會。め。處  
 小。路。次。を。行。せ。る。遠。响。秀。吉。轉。演。賀。小。小。稻。田。大。助。と。大。將。と。な。り。二。千。余。人。の  
 乞士を。接。け。い。づ。れ。も。野。武。士。小。お。拾。せ。直。徑。を。旋。て。放。川。の。遠。地。に。據。伏。を。せ。つ。  
 今。や。く。と。待。隙。も。あ。く。岩。成。主。税。助。一。千。余。人。樓。小。據。を。急。ぐ。お。ど。小。山。崎  
 幾。く。あ。ら。う。响。數。千。の。野。武。士。遠。を。取。る。と。う。潮。汐。像。く。喚。叫。心。願。を。出。





豊臣  
三  
終  
卷  
之  
一



是の漂士を見へる。武蔵統と呼ぶ。岩成が駿平門大小懸き。備後信長  
 小旗を遣へり。朽木一死事よと毎日小彼七人を命まひ七人衆の所もあむ。信長を小  
 乙と名をせし。申す。謂やあらん。方僅うも。登る。品軍こそ。山野小旗の。武蔵  
 甲冑。統が。助も。ん。あ。ど。う。新。を。り。て。證。據。を。至。へ。信。長。い。う。で。り。義。小。背。き。道。路  
 と。妨。げ。目。の。又。個。々の。兵。具。を。棄。て。く。ら。せ。ん。俺。們。の。意。志。を。せ。し。難。小。送。居。ん  
 ため。厲。ら。ま。さ。る。所。を。ま。さ。る。路。條。を。遮。り。輩。を。其。が。采。捨。屋。く。一。謂。や。一。一  
 挿。し。て。道。を。閉。り。ん。新。を。至。へ。り。信。小。岩。成。が。隊。の。旗。幟。を。借。受。一。喝。叫。んで。心。懸  
 小。進。む。大。概。中。へ。揚。げ。揚。げ。せ。岩。成。勢。も。小。進。む。地。小。旗。向。ふ。敵。を  
 名。小。首。小。峰。次。が。指。回。二。千。余。人。の。大。軍。を。ま。さ。る。岩。成。勢。を。正。中。小。提。團。あ  
 ま。さ。し。の。れ。と。揚。起。次。起。一。頭。碎。ふ。小。攻。め。ら。る。ま。さ。る。岩。成。方。の。二。千。余。人。途

と。美。ふ。く。強。く。隙。小。彼。人。質。の。七。人。を。信。方。へ。行。く。目。を。失。ふ。り。ま。税。助。も。令  
 と。野。武。士。と。あ。り。ひ。を。し。り。が。軍。の。進。退。尋。常。あ。ら。ぬ。九。十。五。と。秘。く  
 驚。か。れ。り。と。却。さ。る。傳。へ。り。の。と。目。止。し。小。馬。を。躍。ら。せ。打。て。棄。ま。す。野。武。士  
 る。や。人。數。を。纏。め。て。ま。さ。る。と。退。揚。て。ぞ。隊。伍。を。固。む。ま。後。助。を。せ。り。て。敵。小。謀。計  
 あ。ら。ん。も。知。さ。る。目。の。日。も。稍。暮。ま。ん。と。ま。ま。に。速。小。川。せ。ら。ち。流。し。若。川。の。城  
 小。提。け。り。若。小。木。下。秀。吉。の。信。長。の。御。弟。小。出。今。岩。成。を。名。事。小。退。ま。せ。ま。さ。る  
 こと。さ。ぞ。赤。城。念。お。か。り。ゆ。さ。ま。ん。然。も。統。小。遠。城。ひ。と。せ。攻。ん。と。て。自。軍  
 の。兵。士。を。換。せん。こと。新。公。方。家。河。奈。首。の。合。戦。小。謀。計。を。存。假。ま。す。新。討。を  
 被。城。に。兼。執。く。備。り。原。遠。城。の。自。軍。より。攝。河。の。國。を。攻。ん。と。ま。さ。る。小。首。の  
 足。瀧。小。一。七。箕。作。和。田。山。小。十。倍。せ。り。目。今。岩。成。を。適。と。り。こ。も。ゆ。ま。ま。安  
 閑。と。置。り。さ。ん。や。杉。別。の。使。節。帰。來。り。伊。丹。荒。木。保。が。便。宜。小。固。く。又。謀。を



行けり日あらむして河旗下法人たらん律大地うら極小似て信と言出さし  
その機命をうら蜂波谷稲田の二千余騎岩成嶽の赤提賊二十余級若小  
七人の人達を捉返して帰るは是を青龍寺家の證ありと信長小幡を  
か。此小幡陣と青龍寺法城へ移させ玉入程さへみれば搦列へ遣りて  
たる使者諸人を帰來て報して重さく荒木伊丹の両將ハ異儀なく河將佐  
はさつり圓く約束をうらさるる池田の返答定りあつてと所きて秀吉大悦び  
然るに明日蚤天より河出馬ありて宣しつるべし搦列退治の事易しと重さを  
小信長欣悦せしむる當夜は河の軍士達小幡納賜りて之を慰せり

本下計略乗均河友別 属池田勇戦

予建が八斗の才の技業を河の餅小も足らぬ雀昂う十里の駒の海外の功小走  
る河他軍の関き今松河の國を攻るの秘め伊丹の城を伊丹親與尾崎の城

荒木村重たちも織田家小合戦して河を陣小悉し信長大下渠極  
を發應し。あつて本下計奇計を受與荒木村重ハ公船較多備艦は尾崎  
の潮路小勝を然と連波大軍海上小櫓索を及と顯せし時刻を及又伊丹  
親與ハ自營之百余人を勝く拒拒燒軍かんの準備あり。廿九日の甲夜の  
間小幡輩小兵糧喫を夜半に河より倉庫を當く進發を這駒已小信  
長の青龍寺の城小立せしが五万の勢を列率一玉ひまご色も分ごぬ曉  
天西岡を河出馬ある時小本下藤吉郎信長の馬箭小進來り今朝河出  
陣ハ天下平治の河發軍小催ハ二軍同戰軍味をあげさせらるる自軍の威勢を  
河踏し。あつて本下計奇計を受與荒木村重ハ公船較多備艦は尾崎  
兼所ると罷ら了ぬ小幡と騰る其の声の千龍万虎の一歩小幡の崩れを像く  
あり。この好方の城を小幡這武者斗を河よりも一氣も魂も身小傷をも懼怖り極





木下の  
謀計  
挿州の  
沖へ艦艦  
數百をたぐ  
三好黨を怖む

三好黨を怖む



三好黨を怖む



會うら小伊丹親興之百餘騎して兵庫表へきて兵庫神崎の友城へ大を焼起そがうへ山陰山陽の諸將ひきもうち連る。新公方家小將佐  
 一、秋登るよしを流云させし。六、形地遠地小對灘守りし。好方の城を倭  
 舟假を出し、實吾を捕ふ。駿も海上數百の艦艦西宮尾崎の潮路小擧ぎ  
 連る。西國方の旗幟數り多く建翻。潮々集勢ひよく何百もとも討ら  
 せど。注伸する小好の個々方御へきて悵果。前小信長種火の像く  
 うしろ小西國和堀の大軍怒潮となりて充滿せり。此期小隊く大切ある西國  
 へ流る通落あり。倘塞がまなびいふと。鬼もあき本國小率退き流る軍  
 せんりのと臆病風小吹起らば條原た京進の坂を逸速く富田の若門寺へ  
 馳奔り。細川真之の好長治小對面。方僅將軍義榮君ハ河腫物の河橋  
 日々小重らせ至ふ處小敵東西より進來まば、中少く河女抱の至治りハ

よとまじし。斥時もとやく阿波の國へ河下向ありて。河心志づる小河保養の律ま  
 しまさば熱るべしと諫る小ぞ。各々實小も同心なり。當日己の刻過る頃准  
 備疎區く小辯調つ。河船小義榮君を枝系奉り。細川真之の好長治  
 供奉し、まゐらせ、別れ當て出帆せり。條系た京の駒馬おて。諸將の自軍へ  
 遠事と告知せしる中り。友川津城主の好日向も長録も。同城せんと來り  
 せ岩成主税助さまを割し。色く力せ流るといふも。所寄まて。和少りもあふ  
 本國列へ還散せり。斯る不注伸ありて。高槻の城主入江左をとも。既不信長へ  
 降参あり。そ隊の志を魁として。友川へ推進る。河要心ととも。せ岩成丈ひ小怒  
 報る。無バ自懸。孤隊少く。備は防戦せまやと。敵進來るを候。菟しとも風  
 説の三小てまらじ。しうらむ。是ハ本下が謀り。まづ松河の國民を懐けたり。と  
 信長を勧め。仁恩厚く。布施せらる。小今ま。之好が苛政小惱。途炭小苦也



む百姓のまじり蘇生かたるありしと。是は儂く從靡きとを何が八方(是)旋  
 して。三好一味の城を輩せ。怖さんため小初(の)如く。言簡し。このはあり。このは  
 振河の城を。發。發。發。事比孤あら。中(の)も飯盛。河内國旗の城。この好(下)野古  
 政康(の)將軍(の)列(へ)河渡海(の)と。所(と)等しく高屋。河内古市。の城(へ)急(小)馳(以)  
 之好山城(中)康(長)小(村)面。還(を)は(こ)とせ。勅(む)も(と)も。康(長)の遠慮(ある)者(の)へ  
 還城(然)る(づ)ら(と)と。制(し)止(ら)ま(と)之好(政)康(の)と。ろ小(猶)祿(と)と。ろ(機)會(ら)西  
 國(の)大軍(新)公(方)家(新)加(勢)と。攻(よ)り。尼(崎)著(る)は。所(へ)小(猶)更(あら)く  
 能(く)自(城)を(率)ひ(城)を(弃)四(國)を(當)て(落)失(ら)る(小)康(長)も(新)て(小)軍(城)餘(を)  
 一(岩)成(が)辭(へ)使(者)を(つ)け。主(稅)助(小)告(け)る(ら)諸(方)の(目)方(池)城(持)輩(軍)  
 も(せ)ば(と)新(計)或(の)落(う)せ(或)の(障)り。過(半)の(敵)小(屬)く(ま)ば(く)小(軍)城(軍)り(る)  
 ま(じ)あ(ま)小(軍)乃(乃)亦(も)歸(國)て(後)事(を)謀(らん)是(中)も(其)地(を)河(邊)系(終)る

軍(と)重(運)り。十月二日の曉(天)小(條)原(左)系(小)清水(の)城(を)還(救)せ(る)布(引)  
 瀧(山)の(兩)城(も)の(隙)小(う)の(落)去(ら)る。遠(江)仲(小)岩(成)主(稅)鞆(斷)と(る)せ(る)も(と)  
 甲(後)を(り)其(川)を(還)て(四)國(の)方(へ)航(行)る。信(け)る(程)小(信)長(の)艦(を)其(川)の(城)小  
 投(新)公(方)家(と)て(小)清水(へ)請(待)ま(わ)せ(る)振(河)の(支)國(目)系(日)から(平)  
 均(小)既(び)事(會)本(中)の(奇)計(小)出(す)不(思)儀(と)り(も)小(信)長(あり)遠(遣)勝(ま)し  
 功(と)り(ら)伊(丹)親(貞)と(ら)ふ(と)百(計)を(せ)り(て)各(庫)面(を)放(火)る。諸(城)の(各)士  
 を(怖)せ(る)連(小)國(鎮)ま(り)ぬ。此(功)最(大)あり(と)各(庫)領(小)任(ぜ)り(と)其(外)隣(系)の  
 諸(士)達(を)殘(り)り(召)出(す)。新(公)方(家)小(詳)報(を)し(め)勝(軍)の(賀)を(行)る(然)る(に)  
 攝(河)池(田)池(田)城(を)池(田)流(流)中(傷)政(ひ)と(り)の(も)新(禮)も(り)や(と)を(赤)角(と)り(り)子  
 龍(城)に(は)信(長)不(怒)ら(せ)玉(ひ)直(地)池(田)を(取)臨(せ)と(り)明(智)十(兵)衛(光)秀(亦)  
 福(富)根(川)築(田)と(り)派(一)千(余)騎(中)を(向)せ(ら)る。遠(隊)の(各)士(今)冬(も)軍





三好の一族  
義榮を守護  
四國を  
退去す

豊臣三好



功も達ざる様ゆえ遠慮こそ功目せんと號斬て進るやいなや。命釋もさそ探  
 小瓶着せられた破らんときさう。池田筑後も勝政の園より別勇あつては  
 臆せむ。五百有金勢豊とあらうて突出。四馳八走して砍起く我方と進  
 んごう斬とつて進るは。大將梶川平左衛門正徳、氣掃の勇將ありて六六  
 のうち一番小勢一喝叫で馬を躍らせ。強陣共く踏雷の如く。筑後も小瓶着  
 る備置と見え。防衛の事と一勝ある丹波も小任せ馬をこ整へて大  
 方より梶川平左衛門正徳の合。一更もせむ双騎出て五七合と戦ひ。が  
 池田へは双の別勇あるを慮と観て正徳がごとと鶴出強の陣をたふし  
 て蟻首をぐく砍ちたり。梶川もささむち力以て抜んと柄を握る際もあら  
 せむ。池田が威風雄火の像く。疾馳進て梶川が塊の劈面徹塵ふるまこと  
 捷まてささむ。馬より進る。池田が奔る。池田が奔る。池田が奔る。池田が奔る。

首をぞ扱ふける

光秀智勇降服池田勝政 属松永勘隆

泥中へ一石ある响へ信を圓と辨を賞之。然バ池田筑後守ハ梶川を設  
 てその強威の如く。城小嶼起號進んで防戦ふこと。為小侍移さども  
 城を崩し。明智光秀もささむ。後方ありたる明智孫次  
 光秀も同。光忠も二百有余の兵士を扱け。虎口小向く軍を挑ませ光  
 秀も。之宅奥田に二百余人の殺陣と。正魁小たぐ。近くと進より。池田  
 筑後もが隊中へを。筑後もが隊中へを。筑後もが隊中へを。筑後もが隊中へを。  
 つを傳へ。諸軍もささむ。神小通とて。瞬際小池田の公士二十餘人  
 を殺す。城を破るの勢。丹波守血眼を。喚叫き。指揮を。指揮を。指揮を。  
 名流の精妙小群。止防がん軍。發起する。池田が奔る。池田が奔る。池田が奔る。



見身得たりや。應と面も振らんと攻りし。久難なく一重に據りて。總構に  
 申へ張投り。後当勝政の形と見たり。取て返す。臆の像く小純集り。競  
 投敵と逐拚せんと。正黒小ありて。難起りて。先秀見たり。鞍の形論小。掛  
 たる。先秀把り。筑後也。只一撃と視たり。先秀原案を流し下。減りし  
 わどの至津をま。遠流願小。敵軍の命を有つことあり。し。十名湯決と。將心斯量  
 の勇士と。先秀小。敵軍の命を有つことあり。し。十名湯決と。將心斯量  
 斬て放り。誤りし。筑後也。只一撃と視たり。先秀原案を流し下。減りし  
 明智がうら。砲熾ま。小應りて。馬人共小。地を奪う。て。倒さし。池田が所  
 等。純集り。技も本丸へ。連投り。丹波も。是を。青行。後政。敵軍と。心得  
 一。此場の防戦も。備ひ。じ。と。強兵を。纏めて。率。遅く。此方の隊。使。忽  
 破。是。進。一時。小。總。構。せ。系。投。り。城。門。外。を。攻。逼。福。富。海。田。御。息

ども。迷。び。攻。捕。んと。揚。り。る。先。秀。堅。く。制。し。止。免。城。公。都。て。種。勇。あり。味  
 忽。小。こ。ま。と。攻。伐。の。自。公。も。多。く。換。た。へ。霧。時。戦。略。を。後。げ。玉。と。先。秀。早  
 騎。馬。を。騎。出。し。返。り。に。謀。際。へ。系。結。め。大。名。揚。て。こ。の。織。田。家。の。侍。大。將。明  
 智。十。名。湯。先。秀。を。城。を。流。後。守。刀。孫。小。重。宗。守。嗣。の。作。對。面。あ。り。し。事。り  
 たり。勝。政。案。據。小。起。露。を。の。事。小。や。と。い。ふ。先。秀。別。々。當。國。に。任。人。倭。新  
 公。方。家。の。御。教。書。小。隨。ひ。奉。り。系。朝。み。つ。る。而。小。足。下。一。人。以。り。る。是。に。後。意  
 と。拒。ま。り。こ。好。を。披。け。籠。城。せ。ら。し。こ。の。意。を。得。て。こ。好。一。類。の。惡。逆。を。難。く  
 知。ら。ざる。事。や。あ。ら。ず。小。將。力。た。す。ふ。事。の。案。を。負。ひ。種。火。小。投。石。を。抱。て。池。側  
 小。臨。む。より。猶。危。ふ。ら。む。や。是。下。が。不。意。に。已。小。一。遭。約。せ。し。詞。法。亦。あ。せ。ざる。は。識  
 の。勇。士。と。い。ふ。も。理。由。の。似。こ。も。運。後。の。こ。好。小。將。力。と。累。代。忠。心。考。法  
 家。小。懸。つ。け。死。守。つ。こと。至。愚。か。ら。ん。歟。是。下。の。こ。好。小。信。を。盡。し。て。形。を。籠





光秀の炮術  
馬を撃つ  
池田勝政を  
恐屈せしむ



城一玉(ども)二好(は)足(た)下(くだ)と申(まを)棄(す)て遠(とほ)く四(よ)國(くに)へ逃(に)げま(り)し。好(は)が(ら)信(のぶ)小(たけ)おら(せ)や。天(あま)道(みち)の罅(ひま)を(ら)取(と)りて。新(あらた)公(こう)方(かた)家(け)の旗(はた)も(と)向(むか)うと(も)言(い)ふも。お前(まへ)後(ご)を(ら)失(し)ひ退(ひ)き去(さ)せし。事(こと)實(じつ)九(こ)成(じやう)と思(おも)ふべ(し)ら(し)と。今(いま)天(あま)も(と)足(た)下(くだ)と(も)言(い)は(れ)て。擊(うち)隊(たい)さん(と)落(お)せし。怯(おそ)勇(ゆう)士(し)と(も)炮(はう)報(ほう)せんも(と)怒(いか)りありと。救(すく)して馬(うま)と(も)擊(うち)倒(たお)せし。逃(に)げま(り)し。報(ほう)運(うん)合(がっ)躰(たい)の心(こゝろ)を(ら)申(まを)ら(せ)忠(ちゆう)義(ぎ)を(ら)潔(きよ)く。新(あらた)公(こう)方(かた)家(け)小(たけ)將(しょう)佐(さ)も(と)厭(いと)み。安(あん)堵(と)を(ら)ま(り)し。英(えい)名(な)水(みづ)く(ら)子(こ)孫(そん)小(たけ)傳(でん)へんた(ら)し。新(あらた)將(しょう)軍(ぐん)義(ぎ)堂(だう)君(きみ)の情(なさけ)信(のぶ)小(たけ)も(と)申(まを)つ(ら)し。讓(やう)と(も)受(う)くる人(ひと)も(と)あ(ら)ず。之(こゝろ)好(は)が(ら)小(たけ)推(か)し。執(しやく)達(たつ)も(と)あ(ら)せ。將(しょう)軍(ぐん)と(も)一(いつ)君(きみ)も(と)謂(い)わ(せ)し。報(ほう)運(うん)一(いつ)身(み)の將(しょう)軍(ぐん)も(と)あ(ら)せ。小(たけ)彼(か)君(きみ)の癪(しやく)痕(こん)の惱(なご)も(と)小(たけ)去(さ)月(げつ)の末(まつ)荒(あ)れ(と)も(と)申(まを)つ(ら)し。四(よ)國(くに)へ(と)向(むか)へし。足(た)下(くだ)と(も)言(い)は(れ)し。小(たけ)也(や)と(も)謂(い)わ(せ)し。池(い)田(でん)將(しょう)政(せい)へ(と)も(と)言(い)は(れ)し。寨(さい)樓(ろう)せ(し)け。御(ご)直(ちやく)地(ぢ)小(たけ)作(さく)を(ら)走(は)せし。實(じつ)居(い)を(ら)听(き)む

る。小(たけ)義(ぎ)堂(だう)君(きみ)の薨(こう)せし。事(こと)偽(いつはり)小(たけ)あ(ら)せ。今(いま)誰(たれ)が(ら)め(ら)し。籠(かご)城(じやう)も(と)き(ら)し。新(あらた)公(こう)方(かた)家(け)小(たけ)降(かう)参(さん)と(も)申(まを)つ(ら)し。明(めい)智(ち)小(たけ)降(かう)参(さん)の傳(でん)を(ら)報(ほう)せし。先(せん)秀(しゆ)大(だい)小(たけ)も(と)悦(よろこ)び。頼(たの)小(たけ)茂(しげ)川(がわ)の陣(じん)へ推(お)し。信(のぶ)長(なが)小(たけ)謂(い)せし。大(だい)將(しょう)殊(じゆ)小(たけ)賞(しょう)美(み)と(も)申(まを)つ(ら)し。外(ほか)二(に)千(せん)貫(くわん)の地(ち)を(ら)加(くわ)へられ。池(い)田(でん)の城(じやう)小(たけ)歸(かへ)させし。後(ご)先(せん)秀(しゆ)も(と)喜(よろこ)ぶ。實(じつ)居(い)を(ら)走(は)せし。小(たけ)高(たか)山(やま)小(たけ)高(たか)山(やま)高(たか)山(やま)の性(しやう)日(にち)之(こゝろ)好(は)が(ら)め(ら)し。海(うみ)く(ら)せし。遠(とほ)遭(さい)一(いつ)番(ばん)小(たけ)純(じゆん)参(さん)の將(しょう)佐(さ)公(こう)方(かた)家(け)小(たけ)所(しよ)將(しょう)佐(さ)せし。忠(ちゆう)志(し)淡(たん)と(も)言(い)は(れ)し。中(ちゆう)領(りやう)河(か)内(ない)の言(ごん)屋(や)城(じやう)也(や)。今(いま)又(また)同(どう)國(くに)若(わか)江(え)の城(じやう)も(と)好(は)が(ら)参(さん)義(ぎ)継(けい)へ(と)不(ふ)義(ぎ)の一族(いちやく)小(たけ)所(しよ)擯(へん)せし。後(ご)松(しょう)永(えい)を(ら)將(しょう)佐(さ)と(も)申(まを)つ(ら)し。之(こゝろ)人(ひと)衆(しゆ)を(ら)伐(た)んと(も)せし。實(じつ)小(たけ)松(しょう)永(えい)同(どう)心(こゝろ)せし。小(たけ)あ(ら)せ。後(ご)松(しょう)永(えい)を(ら)伐(た)んと(も)せし。人(ひと)衆(しゆ)を(ら)伐(た)んと(も)せし。後(ご)戰(せん)惱(なご)め(ら)し。時(とき)境(きやう)を(ら)規(き)定(てい)せし。松(しょう)永(えい)を(ら)謀(ぼう)せんと(も)計(けい)し。無(む)が(ら)日(にち)来(き)り。新(あらた)公(こう)方(かた)家(け)へ(と)参(さん)り。小(たけ)將(しょう)佐(さ)の傳(でん)を(ら)申(まを)つ(ら)し。松(しょう)永(えい)彈(だん)正(せい)小(たけ)彌(や)之(こゝろ)秀(しゆ)大(だい)和(わ)河(か)内(ない)和(わ)泉(せん)紀(き)伊(い)の國(くに)



おて。二十万斛余を押領し。その身は和列の信貴山にお住せり。智勇不敵は老  
 將を以て恐怖するものあり。是れも信長も信長を以て怖る。果せば。今小計ら  
 大やと思ひ。芥川へ使者を遣し。品物とて。禮を厚く。報連の罪をこそ好  
 後。降参せん。朝を投る。信長大小憤り。渠の心。前將軍義輝公  
 の漸敵あり。平部公方家を守護し。まわらせし。落させし。今も渠の渠の  
 首を捉んが。為らう。何とて。禮を厚く。とて。放し。自ら。木下切。小鎌を  
 せら。渠の名。老賊。軍小。要産の城。岡。勢。勇  
 勇士も。多く。抱へ。征伐せん。と。容易。遠。彼。老賊。小。欺  
 う。漸。氣。色。や。禮物。受。置。然。余。の。城。守。備。の。松。永  
 さら。漸。免。あり。の。法。を。俺。們。の。對。面。の。武。あり。久。秀。漸。後。り。や。後。別。々  
 然。ある。時。五。七。日。小。歳。内。平均。は。ら。ん。と。勅。め。り。小。信。長。も。漸。く。得。心。せ。れ。

一。う。バ。遠。小。松。永。と。信。長。の。對。面。の。武。あり。久。秀。漸。後。り。や。後。別。々  
 言。小。老。和。別。小。を。信。長。國。中。大。概。治。た。ま。も。岡。井。順。慶。と。い  
 る。者。信。長。の。身。を。濫。妨。お。か。し。を。郡。を。押。領。合。戦。を。止。め。し。事  
 とも。か。や。信。長。の。家。の。發。意。を。り。て。渠。を。退。治。作。ら。ぬ。と。願。ふ。信。長。所  
 一。め。さ。し。岡。井。の。原。を。春日。の。社。目。小。て。岡。井。の。庄。地。領。職。あり。大。和。の。國。の  
 田。部。が。た。ま。國。民。を。悩。む。所。謂。也。然。り。が。國。中。平均。の。為。と。あら。び。退。朝  
 家。小。松。永。一。宣。旨。小。任。せ。重。さ。へ。こ。松。永。を。退。せ。ら。う。木。下。義。輝。公  
 小。松。永。の。漸。退。辭。い。ふ。小。や。と。同。し。ま。さ。る。信。長。も。心。の。と。く。か。の。ま。ま。し  
 う。退。る。の。法。と。認。置。さ。り。遠。朝。い。ふ。小。計。ら。ん。や。と。訊。ね。玉。ふ。藤。吉。藤。松  
 永。公。儀。の。戒。を。授。け。自。己。が。領。地。を。折。潤。ん。と。ま。信。長。計。の。話。を。こ。是  
 せ。り。例。と。一。玉。但。今。畿。内。小。於。松。永。と。對。揚。さ。る。家。の。岡。井。の。



いあふららむ。然もまほ松永小何と云。國中平均の討義をせよと命渡され  
嘗て亦筒井一別使を遣させらる。同く國中平均を命出させ惟えど英雄  
こ小争ひて遂小和別も嘗中入らん。五畿内を全く平均せよ京都安徳の  
基を固めて朝宗恭平の慶後小是らん。是を君は河成先と天下小懸て討略  
このうち小争と勸や。六信長入小欽悦あり再び久秀せる出させ。和列平均の  
事と命渡され。禱別と賜をりたる小より。松永心中大小並びに園大和志安山城へ  
ぞ帰りたる。

藤五郎受秀吉謀發京市一属 活中靜徳

大の裁豊公は丈夫情智天の時と地の理と人活和とを執量せしめ  
て畿内小夢るこの好の運徒と不日小四國へ逐退け。頼め靜徳小をび  
一六信長新公方家を守護し。まおらば播津小旬餘滯留す。國中の

の政軌區を小令属らる。まづ海別の事と之好左京事又義健と高山次舟  
高政と小中園つて下勢せさせ。播津の國の和由伊賀も惟政伊丹公庫次  
親貞池田流後も勝政小國中は大小事を執行す。然も畿内繁榮花  
の土地或る寺社の領を將軍家所再興の事小つた。地を分限渡す小雁下  
て阪法。運上降り神殺せつものいひはる。是より物らる。是より石山本願  
寺を編とて畿内の寺社領を都て獻との財貨夥し。中小懸て堀の津の富家  
豪門最多。然も這們的市人輩。この好と親し。源らる。遠邊の物小後  
む。却更堀の巷は南北の口小園門を構へ防戦の準備し。はる小より速小疎せらる  
づれ事をもども。大事の若は小事ありとて。老臣倂の諫を。これ。信長漸く怒  
一たす。同月十四日公方家と借小放りより上洛あり。是を觀五万の列卒連馬  
遣り。逸々として行さる。巷街の百姓輩。沙石の像く疎詰して。河凱陣を誓し



もあらせ。美歳と唱る声山台林野小満満く。既くも亦稀有しう。既  
小都小善玉ひ。彰公方家法。倭所を。本國寺小定めらる。地理の便宜  
小あうらう。信長は本陣を東山清水寺小居らきて。洛中の糧藉を  
戒らき。明天十廿日。彰公方家此歲月の。洛中初く。し  
首尾く。所入。洛ありし事。洛資を。信長為帽子。心絶せ。假の所  
一。出仕。洛方。所馬を。義昭君。今。功を。感下。なすひ。  
所。公方家。洛。把せ。代。有。の。所。意。あり。  
後。諸將。洛。奉。洛中の町人。悉く。洛。不  
て。下。の。人。所。途。も。原。系。都。の。高。軍。信。長。と。天。魔。鬼  
神。洛。小。懐。ひ。恐。怖。こと。洛。の。洛。中。の。洛。強。く。能。合。て  
軍。死。を。不。願。く。部。あ。ら。ん。と。察。知。る。と。な。つ。る。百。望。玉。氏。の。心。を。安。ん。ト。

織田家。真。腹。を。め。ん。事。を。料理。と。信。長。の。言。は。し。め。ら。れ。し。後。卒  
衆。を。撰。り。小。鶴。見。孫。助。と。い。ふ。者。あり。度。地。の。尾。羽。津。津。小。骨  
を。洛。中。に。生。渡。し。異。相。の。と。り。と。解。力。絶。を。強。く。忠。義  
の。志。性。を。不。厚。と。し。此。の。と。り。と。密。と。秀。吉。が。小。骨。も。近。士。を。并。べ  
高。原。と。い。ふ。所。に。先。集。忠。信。源。の。と。り。と。武。勇。も。百。卒。小。骨。と。い  
方。僅。一。と。事。を。口。傳。と。命。出。さ。る。と。隨。分。粉。骨。勤。む。と。し。本。領。の。好。む  
邊。洛。せ。め。後。洛。中。と。い。ふ。靜。體。と。い。ふ。織。田。家。の。政。道。疎。く。洛。中。人。は  
市。中。小。出。く。洛。坊。と。い。ふ。と。制。せ。ば。信。長。と。あ。ら。ん。と。洛。中。の。方。は  
と。風。聞。せ。り。今。洛。中。を。草。人。の。教。育。の。後。卒。あ。ら。ん。と。中。小。骨。と。い  
ら。う。遠。所。役。を。怠。り。と。勤。む。と。い。ふ。洛。中。の。と。り。と。洛。中。の。好。む  
と。新。の。有。難。と。所。役。の。果。員。の。後。卒。あ。ら。ん。と。小。骨。一。人。召。出。さ。る。と。命。出。ら。る。



趣まづりて具加至極小存まあらと君一大事の所役とあまは御令命  
 せめさるゝとも辞一重とて西小あらとて余ハ空目多こと小こそとそ人  
 りこそ小藤吉所然もあま一然も有るべし其義終ある某方一重一き  
 けんこと外あらとて如く小播く魚一徹一恥辱をさる小似とてこれ  
 又國家法所為小一と勳功のことも大ありと重慶と小者小舟悦読人又  
 のさく乱軍中抱夫小申りて棄る命も忠義のため壞小墜て夫ふ命も  
 義ありといふのそま小振着さうする所奉公小く作せ使率小もせ武  
 士法宮部いりて忠義とあまいざらん強小く嬉く存さるると懼揚て歎  
 謀り果員の浪子と改載て自部小殿一退出も常号の點する網捕と  
 流一山魏一作し刀を常系流中と徘徊ある酒をあまはるま小投酒  
 喫せんと呼さるふとさし電盤遅く出れば散小怒奮や碟子と把く抛碑

とよして襟成より浪と把出酒肴の價と賤ひ素子と強を宿客と逐散  
 一々當廓と走祭。賣餅店と着まはるまも一と程投て飽も會ひ我  
 へ清水小を陣せらう。信長公の家人あり。價が欲く陣前一棄まを強起て  
 罵田り。綱伯舗あまは案と扱て綿舗後羅種々出さる。法の緯と強掛  
 ろるらしと斬言响へ眼を違へぬと怒虎さかのと奸賊ともく。我小討一  
 偽り謀り。所望次第とあまは一のたれの布着あるぞや。その妄説へあはし  
 と強提の如く案と高揚保る走僕と未擲。後田殿の所家人が奉勅こと  
 誰ぞ替めんよりまの對敵とてまはるまの災禍親面とと強藉を給小つ  
 ごと。他も好憎一とありと。後田殿の所内とと。後難い小と懼怖は給  
 ありまを勅解のて出せば亦も門を替。衝を替て強細ること。己と日小も  
 ぬさる一方僅ハ京都の通路交路門を閉て音もせむ。者小聲と見ること。



秀吉衆人の疑怖を  
解の籌策を醸

鶴見藤五郎

普く洛中と

乱妨  
まさむ





神の像一。這駒本下藤吉部時分りよとありきまけきバ浅野堀尾小  
密意せり。活中見たりひと口属と兼听て二十余人の駿卒と乗具  
上下嚴重小打拵。活中の街々を巡検せり。御史輩の口機合ありと  
五郎が狼藉せし者精々斬りつる小。浅野堀尾の大小情き。奇怪乃  
事せかきりつる。後令所家人直居小むせよ。非義能道せり。奸奴の搦  
捉く法度と乳さん某奴のぐ小。祿佃ぞ。我く取の如く巡検せり。信々物曲と  
濫家と為あり。今まで何とて斬らるると言所々小。衛人輩面看合せ大  
小。諸の織田殿の属化とせり。仁義小富と大將小。一むせり。  
其とも知らぬあさぬ。離り来らると思懼り。厥あらん少。市中拳と  
安途に春來と唱へ仁化と作ぎたてし。人々と驚りぬ。不従来の人々。  
織田家の所家人。酒店を狼藉しなふ。小とせり。浅野堀尾の西人

と道とととと。駿卒小指揮。前後の通踏より推進。見放は鶴見倉  
九郎。熟酔たる相親小。理能をち取く罵散。磔ふらぎ小。口八  
面傍他もつた。作化と見より。緝捕ハ走進。云詰小。好奴々。疑  
意ありと。七属と。孫五郎。冷笑ひ我の織田殿の所家人。鶴見藤吉部  
といふ者。多。價と贖ふ。酒を飲小。好事多。予。呼謂。そも某達の執旗  
ひま。この欣楽の妨と。使退去。同小。見せんと。臆。氣も。云強  
る。堀尾吉晴。大小怒り。君の所名と。織を曲者。搦捕。所陣。擊。性。乳。月  
せ。と。指揮。と。意受。と。駿卒。輩。引捕。と。某。め  
ま。見。環。眼。歳。と。肝。き。墮。雷。の。像。き。声。う。祭。團。と。一。声。心。魁。の。駿。卒。と。擊  
拵。と。抛。退。と。堀。尾。集。火。と。そ。ま。公。軍。一。途。小。惹。り。と。掉。胡。と。い。小。尾。小。得。と。と  
六七人。た。右。う。ら。と。着。ら。と。勢。見。死。力。と。顯。と。或。ハ。跪。倒。と。酔。と。解。と。解。と。解。と

浅野堀尾





堀尾 茂助の  
 悍勇 鶴見  
 藤五郎と  
 虜ふす









